鳥羽 咲音（チェロ）

Sakura Toba, Cello

　2005年、音楽家の両親のもと、ウィーンで生まれる。

　2018年、モスクワ若い音楽家のためのコンクール「くるみ割り人形」弦楽器部門で銅賞を受賞するなど、数多くのコンクールで入賞、優勝。

　2019年３月に初のソロ・リサイタルを開催し、10月には沼尻竜典指揮／日本フィルとの共演でチャイコフスキー「ロココの主題による変奏曲」をサントリーホールで演奏。以後、原田幸一郎、大友直人、広上淳一、服部譲二、山田和樹、角田鋼亮らの指揮のもと、読響、東京フィル、群馬響、広島響、京都市響、ウィーン室内管と共演し、また東京・春・音楽祭、プラハ・ドヴォルザーク音楽祭をはじめ様々な場でのリサイタルなど、幅広く活躍している。

　2019年には世界に挑む若い音楽家とアスリートに贈られる第２回「服部真二音楽賞」を受賞した。

使用楽器はアンネ＝ゾフィー・ムター財団より貸与された1840年製のジャン＝バティスト・ヴィヨーム。Mutter's Virtuosiのメンバーとしてツアーに参加するほか、室内楽でもムターと共演している。

６歳から毛利伯郎氏に師事。アントニオ・メネセスやダーヴィド・ゲリンガス、イェンス＝ペーター・マインツの各氏のマスタークラスにも参加した。

公益財団法人江副記念リクルート財団第50回（2021年）奨学生および、公益財団法人ロームミュージックファンデーション2021、2022年度奨学生。2022年よりベルリン芸術大学にてマインツ氏に師事。